



ポラン通信



vol. 15

あまり考えることのないペットを飼うに 2025年5月 あたったの“マナー”について

現在、日本でのペット飼育率は「17.8%」と言われています。それは2015年の「34.2%」から大幅に減少しています。**内訳は犬が約9%, 猫が9%。**10人に1人しか犬、猫を飼わない現代で飼育者はいわば少数派といえます。これからの社会で共存していくために、あらためてペット飼育のマナーを考えましょう。自分さえ良ければ・・とう行動は、ほかの愛犬愛猫家、はたまたペットを飼育していない方への迷惑となり、最終的に自分のペットに迷惑がかかります。みんなが幸せに暮らすために協力しましょう！

犬嫌いを増やすな！
犬のお散歩迷惑あるある

猫のついておさらいしましょう。

猫ブームが去った感がややある今日。忘れちゃならない猫についてのあれこれをおさらいしましょう。

1. 猫は繁殖能力が高い！

猫は早いと生後4ヶ月で繁殖可能となり妊娠期間は2ヶ月。また一度に複数生みますから、早めに避妊去勢手術をおすすめします。メスは乳腺腫瘍予防、オスもスプレー行為を防ぐのに役立ちます。

2. 猫は完全室内飼育！

外に自由に行っている猫は糞尿で近隣に迷惑をかけ、喧嘩、ウイルス感染症、交通事故などで寿命は室内飼育より短い傾向にあります。脱走防止対策を行い、もしもに備えてマイクロチップを装着しましょう。

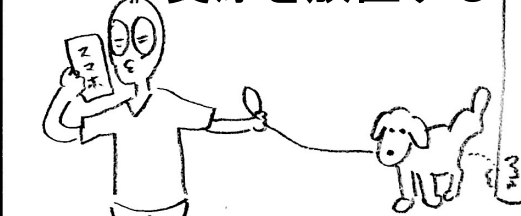
3. 猫をどんどん集めない！

断言しますが猫は複数で飼育すると必ずいじめられる子、人になれない子が出てきます。保護を理由にどんどん猫を集める方が多いですが、先住猫のQOLを下げ、病気が蔓延し、経済も逼迫、猫の福祉も損なわれ良いことはひとつありません。近所にそんな方がいた場合はいつ多頭飼育崩壊するかわかりません。声をかけてあげましょう。あなたも「自分は大丈夫」は禁物です。猫を飼うなら「もしもの時、人に託せる頭数」にしましょう。

ノーリードで公園で遊ばせる



糞尿を放置する



リード伸ばしすぎ



通行のさまたげ



犬のおしっこで信号機が倒壊？

2021年、三重県にて耐用年数の半分ほどで突然信号機が倒壊し、話題となりました。調査によると、通常の約40倍の尿素が根元から検出され、犬の尿の尿素や塩分が信号機を腐食させた可能性が高いという報告でした。実際、私たちも犬のお散歩コースで変色した電柱などを目にしたことがあるのではないのでしょうか。犬の排泄は生理現象ですが、お散歩中の糞尿の放置でトラブルになるケースは多いです。

＜糞尿を放置するとどうなるか？？＞

犬の尿：不快なおいが取れなくなる。

かけられた場所が腐食、変色、劣化する。

植物などは枯れてしまうことも。

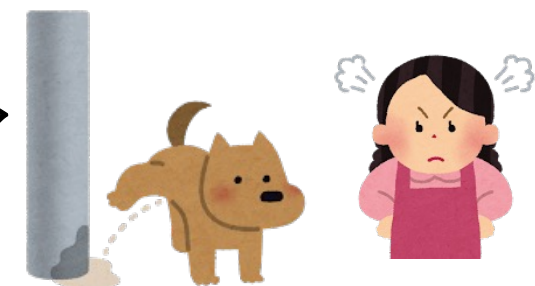
においがある場所は繰り返し排尿される。

犬の糞：寄生虫などの感染症を拡大させる恐れがある。

(多くの寄生虫の卵は便中に排泄される)

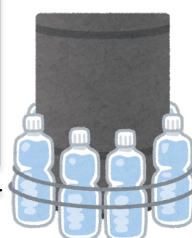
感染の有無に関わらず人を不快にさせ景観を損ねる。

条例違反・軽犯罪法違反・廃棄物処理法違反の可能性もある。



電柱にペットボトル

排泄への忌避効果はないが
それだけ住民が困っているという証拠です。ここで
排泄はさせないようにしましょう。



実際のお散歩マナーは？

犬の散歩＝排泄というイメージが強いかもしれませんが、**排泄は自宅で済ませてから**お散歩しましょう。外でしか排泄しない子は、糞尿の異常に気づきにくく、病気の時、災害時などに苦勞する可能性があります。根気よくペットシートで室内でできるようにしつけましょう。またお散歩中に糞尿をしてしまったら、ビニール袋で糞はとる、尿は大量の場合はペットシートで吸い取り、水を流し、さらにそれをペットシートで吸い取るとよいでしょう。また花壇・街路樹・電柱・民家では排泄しないよう、急足で立ち去りましょう。

★お散歩の持ち物★

- ・糞を入れるビニール袋など
- ・ペットシート
- ・水(希釈した木酢液などもOK)
- ・おやつ(脱走時の呼び寄せ、しつけ)
- ・給水ボトル(マナー用と兼用可)
- ・光る首輪や反射素材のリードなど



ご存知ですか？黄色いリボン

散歩中の犬のリードに黄色いリボンがついていたら、それは「近づかないでほしい」「そっとしておいてほしい」という意思表示です。「イエローリボンプロジェクト」と呼ばれ、スウェーデンから始まりました。近づかれると怖がったり、ストレスがかかる犬がプロジェクトに参加しています。どんなに可愛らしくても、声をかけたい気持ちを我慢してスルーしてあげましょう。まだまだ認知度が低いプロジェクトですが、もし見かけたらそっと見守ってあげましょう。

